

都民が住み慣れた地域で安心して暮らし、希望に沿った最期を迎えることができる体制の強化

- 看取り期への対応に関する意識変革及び対応力の底上げを図る。
- 都主体の研修により31年度までに集中的に人材を育成するとともに、あわせて地域展開(区市町村主体での実施)を目指す。

基礎編 暮らしの場における看取りの機運醸成
看取りの担い手のすそ野拡大

＜医師向け＞ 29年度から31年度までの3年間(100名×2回×3年間=600名)

【内 容】 看取り期の医療・ケアに関する基礎的な内容(在宅・施設共通)

【参加者構成】 看取り実績のない／少ない都内診療所の医師

【形 式】 講義・グループワーク

【講 師】 暮らしの場における看取り期のケアに習熟した医師、看護師 等

＜多職種向け＞ 28年度のみ単年度(1,000名)

【内 容】 看取り期のケアに関する基礎的な内容(在宅・施設共通)

【参加者構成】 看取り実績の少ない都内事業者(在宅・施設)におけるリーダー級職員
(受講後、受講者が各事業者内で伝達研修を実施することを想定)

【形 式】 講義

【講 師】 暮らしの場における看取り期のケアに習熟した医師、看護師、
介護支援専門員 等

実践編 看取り期の実践力底上げ
各地域の研修リーダー育成

＜在宅編＞ と ＜施設編＞ に分けて展開

29年度から31年度までの3年間で全区市町村に実施

【内 容】 質の高い看取りを実施する上で直面する諸課題への対応方法など、
実践的な内容(医療・介護の多職種連携を想定)

【参加者構成】 区市町村単位で多職種がチームを組んで参加

【形 式】 グループワーク・講義

【講 師】 暮らしの場における看取り期のケアに習熟した医師、看護師 等
※各年度の受講者が翌年度以降の都研修のファシリテーターや講師を
担うことを想定
⇒ 受講者のフォローアップにもつながる

区市町村展開

区市町村主体で地域のニーズに
応じた研修(※)を展開
(区市町村に対する補助を検討)

※ 都で育成した人材の活用を
想定

スケジュール

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
基礎編	医師向け研修カリキュラム検討分科会 多職種向け研修カリキュラム等検討分科会 基礎編(多職種向け)	基礎編(医師向け)		
実践編	多職種向け研修カリキュラム等検討分科会、医師向け研修カリキュラム検討分科会等	実践編(在宅編)		
		実践編(施設編)		
区市町村		区市町村主体で地域のニーズに応じた研修を展開		